

災害時に 周りの方々にお願いしたいこと

・視覚障がいの方が移動する時には、体に軽く触れて声を掛けてから、移動するお手伝いをお願いします。

・避難所内には、情報をわかりやすく掲示してください。

・医療ケアの必要な方が電源を使えるように、居場所の配慮をお願いします。
または、発電機からバッテリーの充電をさせてください。

・パニックになった方には、落ち着ける場所が必要ということを知ってください。

障がいのある人が 生活するのに必要な 「もの」と「手助け」

障がいのある人には、普段の生活の中で、特別な「設備」や「物」が必要な場合があります。

それがないと、情報が得られなかったり、病状が悪化したり、最悪は死に至ることもありえるのです。

今回は、西区に住む障がいのある人たちに聞いた「生活の必需品」を紹介します。

※防災倉庫への備蓄をお願いするものではありません!!
私たちの生活を知っていただき、イザという時に他のもので代用したり、介助の参考にしていただければ幸いです。

西区生活支援ネットワークについて（代表 深野 博子）

私たちの子どもは障がいがあります。身体障がい・知的障がい・発達障がい・中途障がい等など・・・

この子たちのライフステージをサポートしていく事が私たちのつとめだと思っています。

私たちの会では障がいの種別を超えてお互いを理解し、この西区で町内で家で暮らすには何が必要か、どうすれば安心な生活が送れるか、地域の方々と一緒に何ができるかなど、勉強会・ミーティング等を通して取り組んでいます。

障がいのある人たちの生活必需品と暮らしに必要な手助けの一部をご紹介します。



視覚障がい者

- ・視覚障がい者が安全に移動するには、「白杖」と「人による誘導」が必要です。
- ・情報伝達には「音声」の情報が必要です。近くにいる人から必要な情報を伝えていただくと、とても助かります。

聴覚障がい者



- ・聴覚障がい者が情報のやりとりをするには「ペンとメモ帳」または、「手話通訳ができる方」が必要です。
- 聴覚障がいの方の中には、相手の口の動きで話の内容を理解する方もいます。
- 手話ができなくても、筆談や口を大きく動かして、目の前でゆっくり話せば伝わる方もいます。
- ・情報伝達には、わかりやすい掲示や光による注意喚起が必要です。



精神障がい者

- ・気持ちを落ち着かせることが大事なので、必要なものは、人それぞれです。
- ・でも、薬は絶対に必要です。確実に服薬することが大切なので、近くの方は精神障がいの方が薬をきちんと飲んでいるかを気にしていただけると助かります。



向精神薬
(睡眠剤・抗不安剤など)

肢体不自由や重度重複肢体不自由

状態により、必要なものは様々です。

- ・吸引器などの医療機器を使うため、電源が必要な方もいます。



- ・おむつ替えのスペースや医療ケアのため横になれるマットが必要な方もいます。



- ・震災後の悪路では、車いすがパンクしやすいので、「パンク修理キット」や「空気入れ」が必要な方もいます。

知的障がいや自閉症

- ・周囲の音に敏感なため、耳栓が必要な人がいます。
- ・パニックになってしまうので、静かな場所が必要な人がいます。

